

「第6期金沢市障害福祉計画・第2期障害児福祉計画骨子(案)」について

パブリックコメントでのご意見と本市の考え方(回答)

募集期間 令和3年1月18日(月)～令和3年2月17日(水)

3件(2名)

番号	ご意見の概要	本市の考え方
② 基本目標 (4)地域共生社会の実現に向けた取組み		
1	<p>基本目標、例えば(4)地域共生社会の実現に向けた取組み、に記載の事項を見て、現代時代的な時代遅れの違和感を感じます。これまで障害者は特別な人々であったところ、これからは、高齢者という新たな枠組みを併合して誰もがどことなく障害者という認識を共有する時代にあると思います。この視点がないと、「共生」という発想から抜け出れないように思います。「共生」は、あなたと私は違うものという前提で、相互の理解を図りつつ相互の距離を縮める性格があると思います。しかし、これからはすでにあるがまま、「バラバラで一緒」の感覚で、そのままをそのまま認める時代に感じます。 実際、「あなたと私は違う」が、いつなんどき、私もあなたと同じになるかわからない時代です。それを高齢化社会が推進しているように思います。高齢に伴い、障害者となる。その時、社会から距離を置かれて初めて気が付くといいます。障害者は私だった。違うという意識の中で相手を区別して自分を優位に立たせていた。まさにパワハラだ。健常者というパワハラは、自分が障害者になってすぐに壊れる。この事例がどんどん増えています。つまり、障害者にやさしい社会とは、健常者にとって自分がいつ障害者になっても、認知症になっても、社会から障害者として分離されて孤立させられることのない社会ということになると思います。 障害者にやさしい社会が、どう健常者にとってメリットがあるのか。すべての人に、他人事でなく自分事にする仕組みもまた重要に思います。</p>	<p>ご意見として、承ります。</p>
③ 重点施策 2. 障害のある児童への支援の拡充 ②医療的ケア児への支援		
2	<p>金沢市が障害児通園施設「ひまわり教室」を医療的ケア児の相談場の基幹・強化とするならば同意しますが、現状を調査し、適材適所の職員配置をお願いします。</p> <p>ひまわり教室は長年、医療的ケア児やその保護者をサポートされてきました。その功績は評価すべきところもあります。しかし、実際に行われている医療的ケア(医療行為)には医療者の視点で見ると疑問を感じる人が多いようです。環境や管理体制に不安があります。(保護者への教育や指導もやや偏りがあるかもしれません。)医療的ケアは医療の視点が欠かせません。医療と福祉のバランスが重要だと思い、更なる適材適所の職員配置をお願いいたします。</p>	<p>ご意見として、承ります。</p>

③ 重点施策 5. 障害福祉サービス人材の確保と質の向上

3 質の向上のために、障害者福祉サービス支援者にも他機関の見学をお願いしたいです。そして、障害者福祉サービスの新たなリソースを作り出す研修内容も入れていただけると嬉しいです。障害者福祉サービスに従事している方々は他の事業所を見てはいますが、理念や考え方までは触れたことが少ないと思われます。自分の事業所の方法しか、知らないところが多く、自分たちの考え方や方法がベストだと思いつくこともあるのではないのでしょうか。狭い視点で物事を考えて、利用者者に提供している傾向が気になっています。また、支援者の方々は現実に使える福祉サービスが少なすぎると嘆いていることが多いように思います。新たなリソースを生み出すことを彼らの目標とすれば、やりがいや意欲が湧くかもしれません。それらを行政が応援していただけると、支援者はさらに動きやすくなると思われます。どうか、ご検討のほどよろしく申し上げます。

障害福祉サービス事業者が質の高い支援を提供することができるよう、基幹相談支援センターによる事業所等への後方支援や、研修を充実させるなどにより、サービス従事者のスキルアップを図ります。また、金沢市障害者自立支援協議会の各専門部会に事業所連絡会を設置し、事業所間の情報共有と連携強化を図っていきます。